

Open Incubation toward 2020

<2020グループスローガン> **DYNAMIC RESILIENCE**

株式会社デジタルガレージ

2020年3月期 第3四半期決算サマリー

2020.2.10

 **Digital Garage**



2020.3期3Q累計の税引前利益は為替影響で前年同期比2%減の104億円

～ リカーリング事業 (FT / MT) は2桁増収増益、成長加速 ～

		19.3期 3Q(累計)	→	20.3期 3Q(累計)	
連結	税引前利益	106 億円		104 億円 ▲2%	為替による影響▲9億円
	包括利益	71 億円		86 億円 +22%	Welbyの公正価値増加、インキバーション成果を獲得
		KPI		セグメント業績	
				税引前利益	前年同期比
FT	■ 決済取扱高	1.8 兆円 (同 20%増)	→	33 億円 +24%	最高益更新。既存の決済事業が堅調に推移。QRコード決済、大手プレイヤーとの提携で順調に拡大
	■ 内、対面決済	0.2 兆円 (同 80%増)			
MT	■ 広告取扱高	251 億円 (同 6%減)	→	15 億円 +77%	パフォーマンスアド回復基調、CRMとアプリ開発事業好調
	■ 広告以外の取扱高 (CRM, アプリ開発, データビジネス等)	45 億円 (同 73%増)			
IT	■ 投資額 / 売却額	45 億円 / 7 億円	→	44 億円 ▲19%	為替影響及び前期大型エグジット反動減あるも、公正価値は着実に増加
	■ 公正価値評価額	351 億円 (前期末比 32%増)			
LTI	■ カカコム持分法投資利益	29 億円 (同 14%増)	→	33 億円 ▲3%	カカコム持分法投資利益が順調に推移
	■ グループ全体月間利用者数	2億6,705 万			



収益は前年同期比7%増の287億円、税引前利益は同2%減の104億円

～ リカーリング型事業の収益は同19%増、営業投資有価証券に関する収益は同18%減 ～

(百万円)	2019.3期				2020.3期				前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	3Q (累計)	1Q	2Q	3Q	3Q (累計)	(%)	(金額)
収益	8,548	9,677	8,465	26,690	8,217	11,379	9,078	28,674	+7.4	+1,984
リカーリング型事業から生じる収益	5,323	5,722	5,352	16,397	6,138	6,718	6,576	19,431	+18.5	+3,034
営業投資有価証券に関する収益	1,732	2,677	1,398	5,806	459	3,332	968	4,759	-18.0	-1,048
その他の収益	664	206	872	1,742	817	422	301	1,540	-11.6	-203
金融収益	104	125	-134	95	1	16	28	45	-52.4	-50
持分法による投資利益	725	946	978	2,650	803	891	1,205	2,900	+9.4	+250
費用	5,154	5,671	5,286	16,110	5,999	6,271	6,016	18,286	+13.5	+2,176
売上原価	2,463	2,629	2,312	7,404	2,740	2,976	2,853	8,569	+15.7	+1,165
販売費及び一般管理費	2,582	2,914	2,829	8,326	2,951	3,138	3,121	9,210	+10.6	+884
その他の費用	72	76	70	219	78	86	74	238	+8.7	+19
金融費用	37	51	74	162	230	71	-32	270	+66.7	+108
税引前利益	3,394	4,006	3,179	10,580	2,218	5,108	3,062	10,388	-1.8	-191
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,113	2,612	1,957	7,682	1,624	3,647	2,253	7,525	-2.0	-157
当期利益	3,135	2,640	1,920	7,695	1,617	3,623	2,218	7,459	-3.1	-236
その他の包括利益	549	-109	-1,067	-628	2,972	-1,184	-609	1,178	-	+1,806
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	376	-265	-898	-788	3,107	-1,186	-605	1,316	-	+2,104
当期包括利益	3,684	2,530	853	7,067	4,589	2,439	1,609	8,637	+22.2	+1,570

注) 上記収益、費用、税引前利益は、非継続事業を除いた、継続事業を表示



FT / MTは好調が続き、2桁増収増益

～ ITは投資先企業の公正価値が着実に増加も、為替影響及び売却に伴う評価差益の減少により減益 ～

(百万円)	2019.3期				2020.3期				前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	3Q (累計)	1Q	2Q	3Q	3Q (累計)	(%)	(金額)
収益	8,548	9,677	8,465	26,690	8,217	11,379	9,078	28,674	+7.4	+1,984
FT フィナンシャルテクノロジー	1,763	1,812	1,838	5,413	2,083	2,204	2,184	6,471	+19.5	+1,058
MT マーケティングテクノロジー	3,053	3,390	2,953	9,396	3,376	3,984	3,705	11,065	+17.8	+1,669
IT インキュベーションテクノロジー	1,898	2,890	1,485	6,273	507	3,462	1,405	5,374	-14.3	-899
LTI ロングタームインキュベーション	1,740	1,506	2,245	5,491	2,232	1,696	1,744	5,672	+3.3	+181
税引前利益	3,394	4,006	3,179	10,580	2,218	5,108	3,062	10,388	-1.8	-191
FT フィナンシャルテクノロジー	849	856	950	2,655	1,061	1,112	1,129	3,303	+24.4	+647
MT マーケティングテクノロジー	266	402	188	856	327	676	512	1,516	+77.0	+660
IT インキュベーションテクノロジー	1,634	2,573	1,208	5,414	146	3,138	1,114	4,398	-18.8	-1,016
LTI ロングタームインキュベーション	1,050	825	1,528	3,403	1,493	932	890	3,316	-2.5	-86

注) 収益は外部収益。各セグメント税引前利益はセグメント間取引消去前、全社収益及び費用調整前



税引前利益及び当期包括利益

(百万円)	2019.3期	2020.3期	前年同期比	
	3Q (累計)	3Q (累計)	(%)	(金額)
税引前利益	10,580	10,388	-1.8	-191
親会社の所有者に帰属する当期利益	7,682	7,525	-2.0	-157
当期包括利益	7,067	8,637	+22.2	+1,570

■ FT / MT セグメント + 13 億円

■ IT / LTI セグメント ▲ 11 億円

→ 為替の影響 ▲ 8 億円 ✓
 売却に伴う評価差益 ▲ 18 億円
 公正価値評価益 +15 億円

■ HQ ▲ 4 億円

→ 事業拡大に伴う販管費の増加 ▲ 3.6 億円
 為替の影響 ▲ 1.3 億円 ✓

計 税引前利益 減益 ▲ 2 億円

■ 当期利益 減益 ▲ 2 億円

→ 継続事業 + 2 億円
 非継続事業 ▲ 5 億円

■ その他の包括利益 + 18 億円

→ Welby上場に伴う公正価値の増加等 + 21 億円
 為替換算調整 ▲ 3 億円 ✓

計 当期包括利益 増益 + 16 億円



2020年3月期 第3四半期末 連結 要約B/S (IFRS)



(百万円)	19.3期末	20.3期3Q末	前期末比	主な変動要因/備考
流動資産	99,186	105,384	+6,197	
現金及び現金同等物	48,154	47,664	-491	新規投資、FT事業関連科目、法人税と配当金の支払い等
営業債権及びその他の債権	23,254	20,626	-2,628	FT事業関連科目他
営業投資有価証券	26,695	35,122	+8,427	<u>新規投資及び投資先企業の公正価値評価額の増加</u>
非流動資産	47,704	63,807	+16,104	
有形固定資産	9,421	19,469	+10,048	本社増床に伴うリース取引による使用权資産の認識等
のれん	6,575	7,689	+1,114	新規取得
持分法で会計処理されている投資	19,139	20,869	+1,730	持分法投資利益の取込
その他の金融資産	6,662	9,324	+2,662	<u>新規投資及び上場株式の時価評価</u>
資産合計	146,890	169,191	+22,301	
流動負債	52,420	58,287	+5,867	
借入金	2,211	6,600	+4,389	FT運転資金需要他
営業債務及びその他の債務	45,799	46,601	+803	FT事業関連科目他
非流動負債	47,125	55,932	+8,808	
社債及び借入金	35,959	34,557	-1,402	
その他の金融負債	5,430	13,721	+8,292	本社増床に係るリース負債の認識等
繰延税金負債	4,744	6,581	+1,836	<u>有価証券の評価益に係る税金見積り額</u>
負債合計	99,545	114,220	+14,675	
資本合計	47,345	54,971	+7,626	
親会社の所有者に帰属する持分	46,609	54,266	+7,656	
資本金	7,504	7,576	+72	
資本剰余金	4,235	4,390	+155	
自己株式	-5,026	-5,012	+14	
その他の資本の構成要素	1,303	2,480	+1,177	<u>投資先企業の公正価値評価額の増加 (その他の包括利益)</u>
利益剰余金	38,593	44,832	+6,238	当期利益の取込
非支配持分	736	706	-30	
負債及び資本合計	146,890	169,191	+22,301	

事業セグメント別レビュー



I フィンancialテクノロジーセグメント

	収益	税引前利益
2019年3月期 3Q (累計)	5,413 百万円	2,655 百万円
2020年3月期 3Q (累計)	6,471 百万円	3,303 百万円

▶ **株式会社イーコンテクト**
国内最大級の現金系決済プロバイダー



▶ **ベリトランス株式会社**
国内最大級のカード決済プロバイダー



▶ **econtext ASIA Ltd.**
決済事業香港法人



▶ **ナビプラス株式会社**
ベリトランス子会社、ECサイト内レコメンドエンジンを提供



▶ **ANA Digital Gate株式会社** (出資比率49%/持分法適用会社)
FinTechを活用した新たな決済ソリューションを開発・提供



▶ **株式会社SCORE** (出資比率49%/持分法適用会社)
後払い決済事業、決済データを活用した各種金融事業を展開



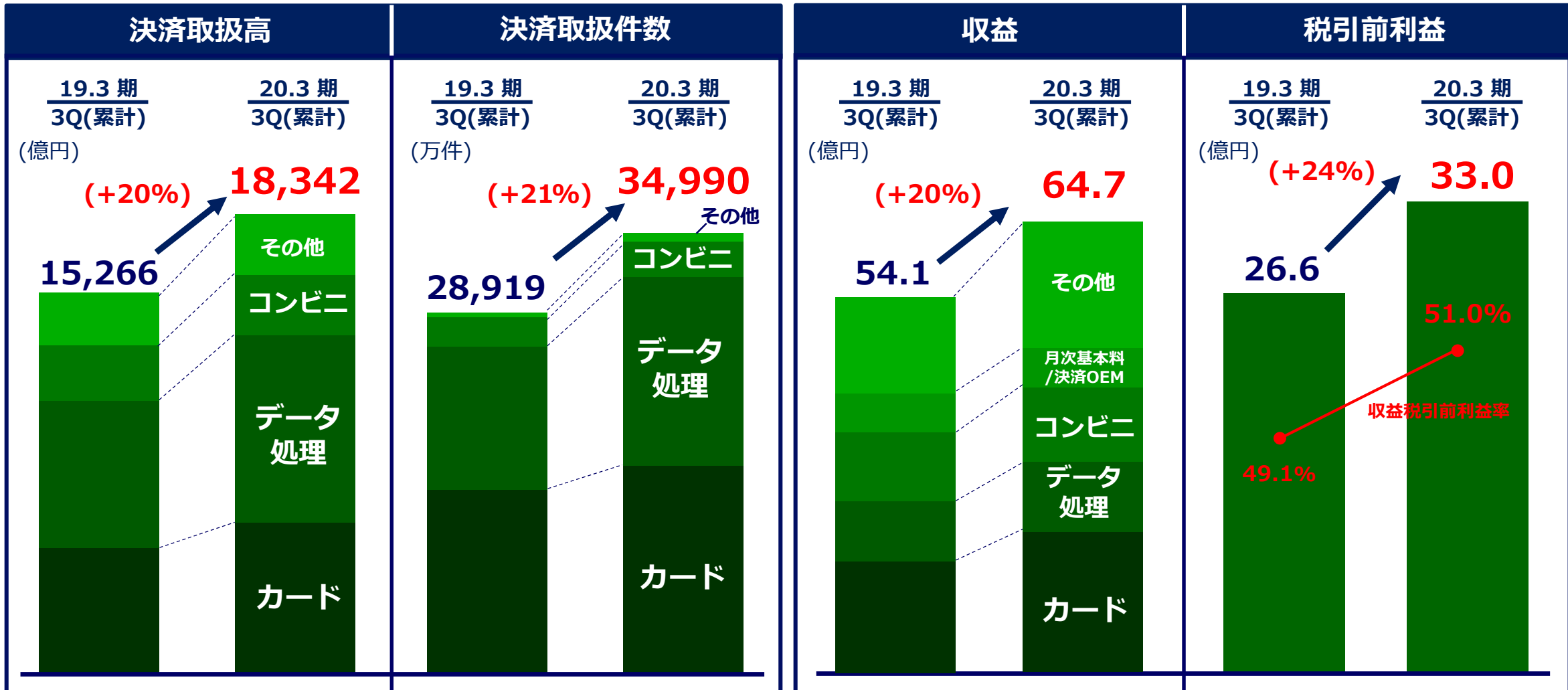
▶ **TDペイメント株式会社** (出資比率49%/持分法適用会社)
POSシステム向けマルチ決済ソリューションを展開



注) 収益は外部収益。税引前利益はセグメント間取引消去前



決済取扱高は前年同期比20%増の約1.8兆円、決済取扱件数は同21%増の約3.5億件
～ 収益は同20%増、税引前利益は同24%増の33.0億円、最高益を更新 ～





事業パートナーとのアライアンスにより、大規模事業者から中小規模の小売店舗まで網羅
 ～ 共通QRコード決済、d払い®に加え、au Payへの対応を発表 ～

アライアンス戦略



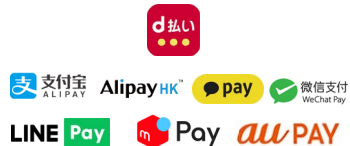
POS国内シェア1位の
 東芝テックとの合併
 マルチ決済
 ソリューションを提供



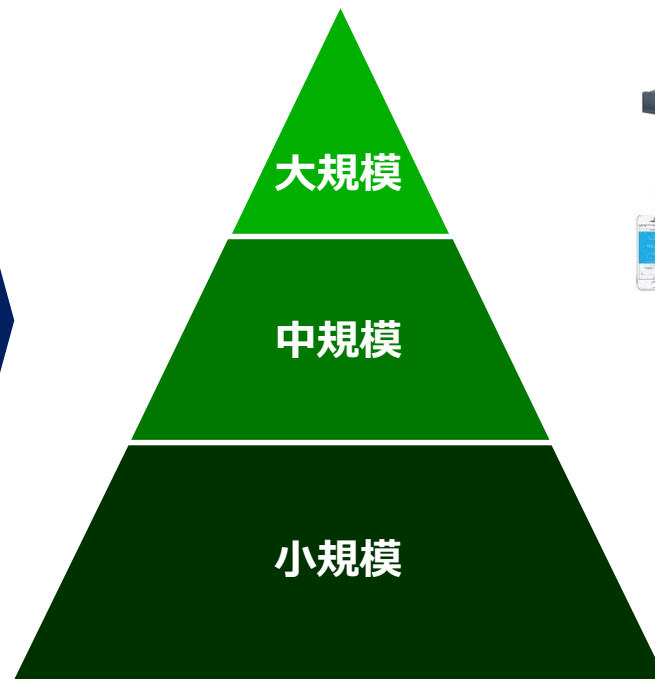
ANAグループとの合併
 全国の空港、免税店、
 対面小売店舗等に対し、
 マルチ決済端末を展開



共通QRコードの
 MPM決済で
 NTTドコモに加えて
 au PAY等の
 国内外の有力
 プレイヤーと提携



小売店舗・規模 / 店頭決済端末



POSレジ



モバイル
 POS



マルチ
 決済端末
 mPOS



QRコード
 読取パネル
 クラウドペイ

店頭設置用 QRコードスタンドのイメージ

対面決済取扱高

【2019年4-12月】
1,687
 億円

【前年同期比】
1.8倍

【2018年4-12月】
 942億円

注) MPM (Merchant Presented Mode) : 店舗に設置したQRコードを消費者がスマートフォンで読み取って支払う方式



II マーケティングテクノロジーセグメント

	収益	税引前利益
2019年3月期 3Q (累計)	9,396 百万円	856 百万円
2020年3月期 3Q (累計)	11,065 百万円	1,516 百万円

- ▶ **マーケティングテクノロジーカンパニー**
パフォーマンスアド、O2O、Webマーケティングを提供



- ▶ **株式会社DGコミュニケーションズ**
不動産広告事業を主にし、生活者の暮らしをより快適なものにするソリューションを提供



- ▶ **株式会社 BI.Garage**
データサイエンス事業、ソーシャルマーケティング、最先端アドテクを提供



- ▶ **株式会社サイバー・バズ** (出資比率21.1%/持分法適用会社)
インフルエンサーを主軸としたソーシャルメディアマーケティング事業を展開



- ▶ **株式会社DGマーケティングデザイン** (出資比率20%/持分法適用会社)
ビジネスデザインカンパニーを前身として2018年6月25日に設立



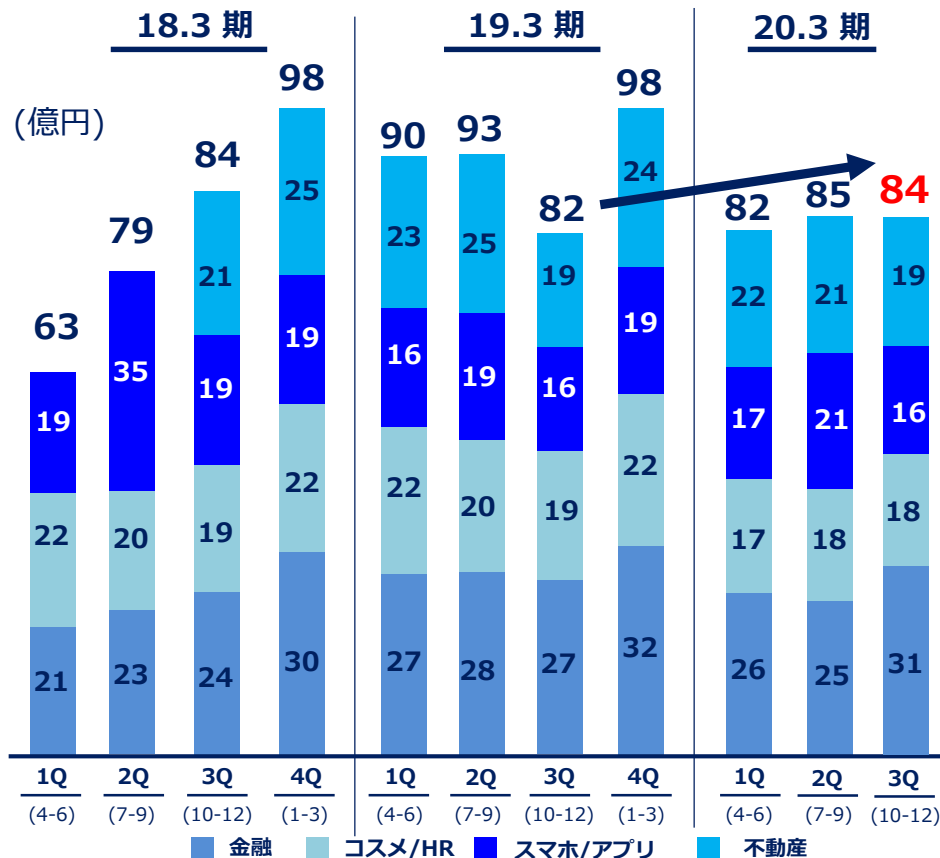
注) 収益は外部収益。税引前利益はセグメント間取引消去前



収益は前年同期比18%増の110.6億円、税引前利益は同77%増の15.2億円

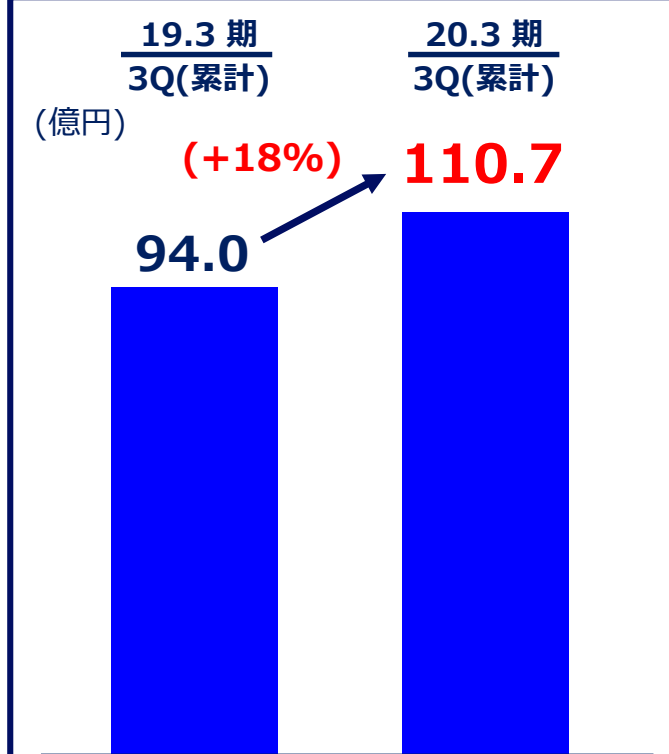
～ 収益性を重視した案件の選択と集中により、引き続き利益率が改善 ～

広告取扱高



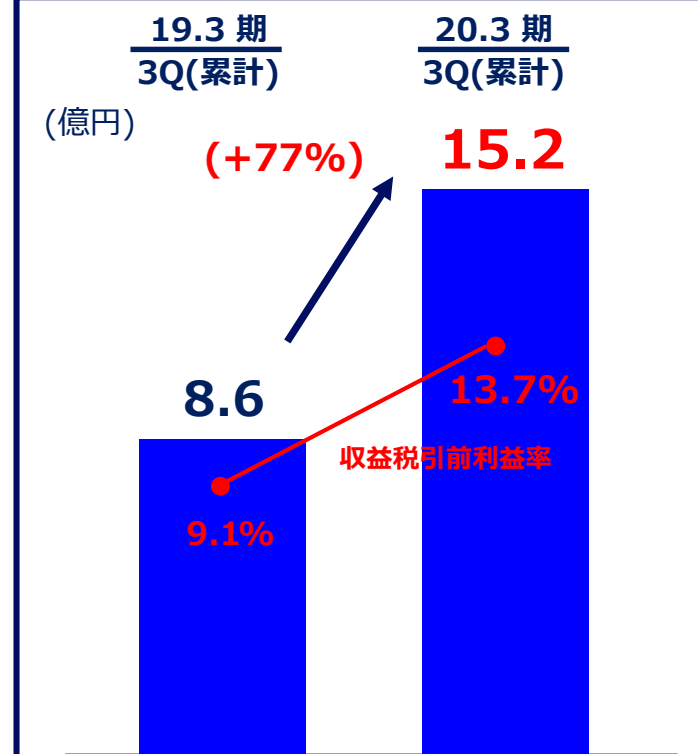
■ キャッシュレス・ポイント還元事業により金融(クレジットカード関連広告)が好調

収益



■ インターネット広告以外のCRM、アプリ開発事業が好調

税引前利益



■ 収益性改善を重視した案件の選択と集中
■ 販管費コントロールが奏功



事業環境の変化に対応

I <マーケティングテクノロジーカンパニー>
MT / FT 連携

広告以外のCRM・アプリ開発等の収益は前年同期比2.4倍

クレジットカード会社のポイントマーケティング事業が好調。FTを含めたセグメント横断的な成長戦略を引き続き推進

II <DGコミュニケーションズ>
不動産 / ONL 連携

不動産業界向け「**Open Network Lab Resi-Tech**」第1期完了
第2期は、国内主要都市の行政及び新たな不動産有力パートナー企業と連携、都市計画と整合した実証実験をスタートアップと推進へ



III <サイバー・バズ>
ソーシャルメディアマーケティング

Instagram、FacebookなどSNSを活用した
インフルエンサーマーケティングの自社プラットフォーム展開
マーケティンググループシナジーの創出



日本を代表するデータサイエンティスト

次世代のデータテクノロジー

IV <メディアコンソーシアム推進室>
ナショナルクライアント

日本を代表するコンテンツメディア40社を組織してデジタル価値研究会を組成、主要クライアントへの高価値デジタル広告のテストマーケティングを実施
来期の共同事業化に向けての最終フェーズ

< FT / MT / LTI を横断するデータサイエンス事業の強化 >



BI.GARAGE

BI.Garage 取扱高
前年同期比 +44%

DG/カカクコムが主体で開発した広告メニューで
ナショナルクライアントの広告出稿が拡大

Digital Garage **kakaku.com**

クライアント数

19.3期 3Q(累計) 20.3期 3Q(累計)

98社 ➡ 139社

Ⅲ インキュベーションテクノロジーセグメント

	収益	税引前利益
2019年3月期 3Q (累計)	6,273 百万円	5,414 百万円
2020年3月期 3Q (累計)	5,374 百万円	4,398 百万円

- ▶ **株式会社DGベンチャーズ** (旧 株式会社DGインキュベーション) ※
ベンチャー企業等への投資およびインキュベーション事業
※2020年1月1日付で商号変更



- ▶ **Open Network Lab** (プログラム)
シードアクセラレータープログラム、第20期実施中



- ▶ **Digital Garage US, Inc.**
米国を拠点としたグローバル戦略のヘッドクォーター



- ▶ **株式会社DG Daiwa Ventures** (出資比率50%/持分法適用会社)
次世代技術を有するスタートアップ企業を対象としたファンド「DG Lab Fund」を運営



注) 収益は外部収益。税引前利益はセグメント間取引消去前

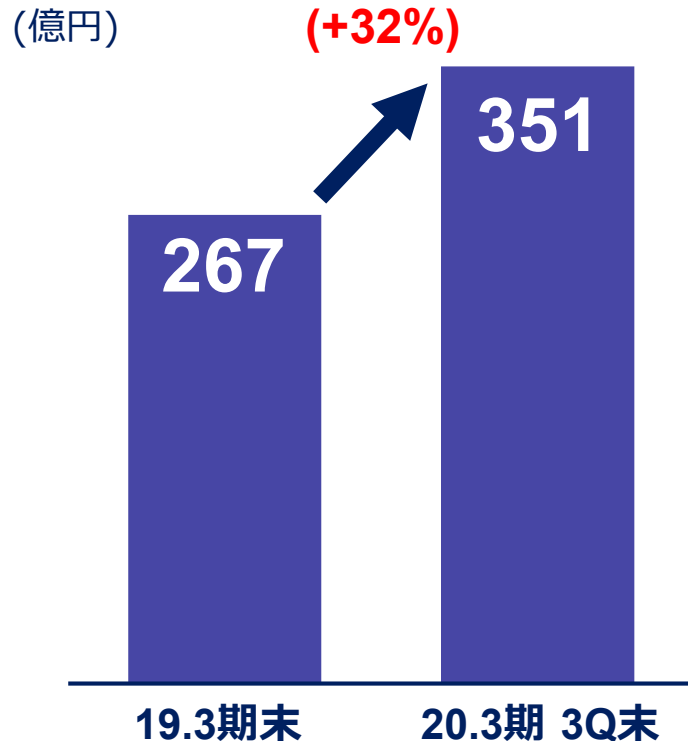


2019年12月末の営業投資有価証券残高は、前期末比32%増加の 351億円

～ 公正価値の増加・新規投資の順調な進捗により投資有価証券残高が伸長～

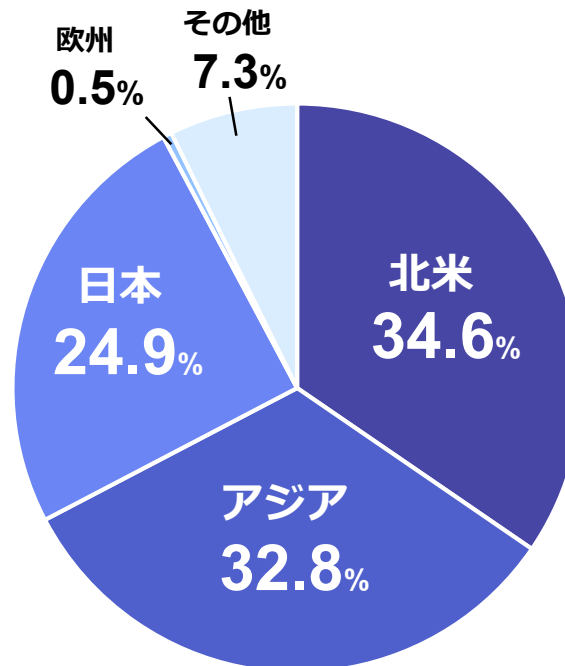
営業投資有価証券 残高

営業投資有価証券の公正価値は、前期末比 **32%増加と大きく伸長**



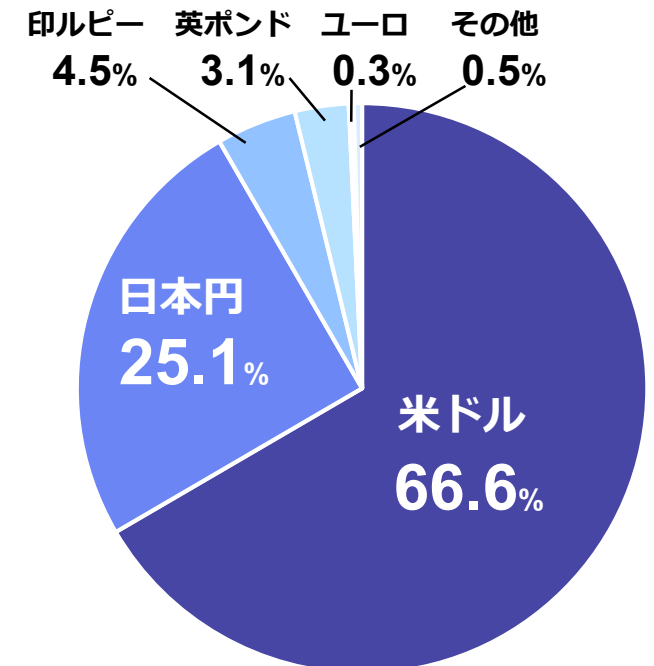
投資先 エリア別 比率

グローバルインキュベーション ストリームを軸に、バランスの取れた投資ポートフォリオを構築



投資先 通貨別 比率

海外への積極的な投資により、**米ドルベースの投資残高が3分の2を占める**




注) エリア別及び通貨別ともに、営業投資有価証券残高のシェア



日本・アメリカ・アジア各エリアにおける投資が順調に進捗 ～ 継続的な投資価値の向上を目指して、支援体制の強化に取り組む～


投資先の一例

QDレーザ [日本]  **QD LASER**

量子ドットレーザ技術の事業化を目指す先駆者として、通信・産業・医療・民生用分野で新しい半導体レーザソリューションを開発・提供

Sen Do Technology [ベトナム]  **Sendo**

ベトナムのC2C・B2C向けマーケットプレイス「Sendo」の運営、及び電子ウォレットサービスを提供

WHILL [日本]  **WHILL**

従来の電動車椅子ではなく、スタイリッシュなデザインと洗練された使い心地、直感的な操作性を兼ね備えた全く新しいパーソナルモビリティを開発・提供

Droom [インド]  **droom**
India's Most Trusted Motorplace

インド最大手の自動車売買オンラインマーケットプレイス「Droom」を運営

グッドパッチ [日本]  **Goodpatch**


サービスやプロダクトの企画設計から、コンセプトメイキング、UX設計、プロトタイピング、実装までワンストップで提供

NoBroker Technologies Solutions [インド]  **NOBROKER.COM**

物件検索から契約まで一連の手続きを全てオンラインで可能とするCtoC不動産マーケットプレイスを運営

マネーツリー [日本]  **Moneytree**

銀行、クレジットカード、電子マネー等、複数のオンライン明細を一つに集約し、スマートフォン等から口座残高と利用状況を確認できるファイナンスアプリを提供

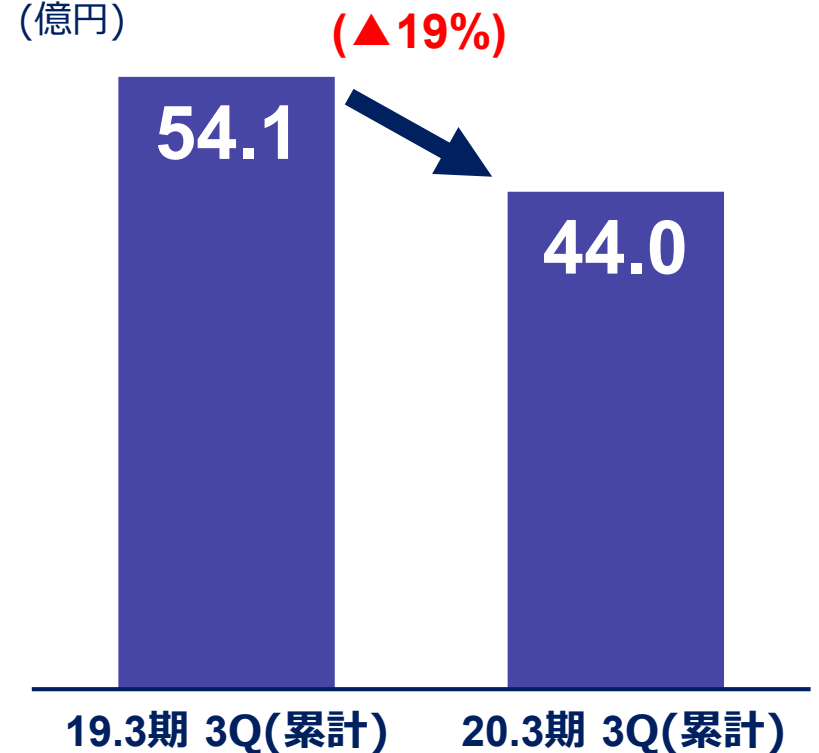
GrubMarket [米国]  **GrubMarket**

新鮮なオーガニックフードに特化したリーディングマーケットプレイスプラットフォームを展開

セグメント利益

円高の影響等により、公正価値評価のPL貢献額が前年同期より減少

(億円)





IV ロングタームインキュベーションセグメント

	収益	税引前利益
2019年3月期 3Q (累計)	5,491 百万円	3,403 百万円
2020年3月期 3Q (累計)	5,672 百万円	3,316 百万円

- ▶ **株式会社カカクコム** (出資比率20%/持分法適用会社)
 購買支援サイト「価格.com」、レストラン検索・予約サイト「食べログ」の運営、
 新興メディア・ソリューション事業等を展開

kakaku.com

- ▶ **株式会社Crypto Garage**
 東京短資と共同でブロックチェーン技術や暗号技術を活用した高度な金融サービス
 の開発と事業化を推進

 CRYPTO GARAGE

- ▶ **株式会社アカデミー・デュ・ヴァン**
 ワインスクールの運営事業、ワインの卸売事業等を展開



注) 収益は外部収益。税引前利益はセグメント間取引消去前



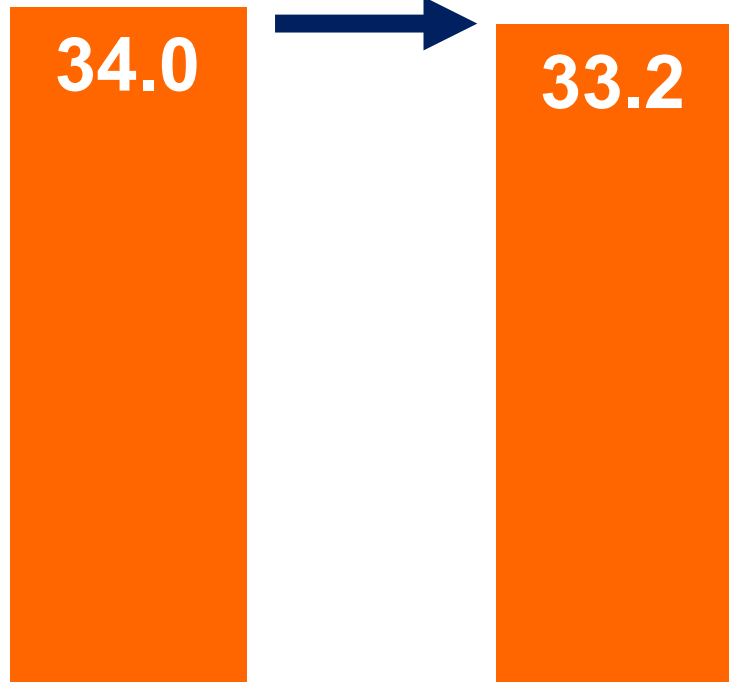
税引前利益は前年同期からほぼ横ばいとなる 33.2億円

～ 投資育成中の事業に対する先行費用が影響した一方、カカクコム持分法投資利益が順調に貢献 ～

税引前利益

(億円)

(▲3%)



19.3期 3Q(累計)

20.3期 3Q(累計)

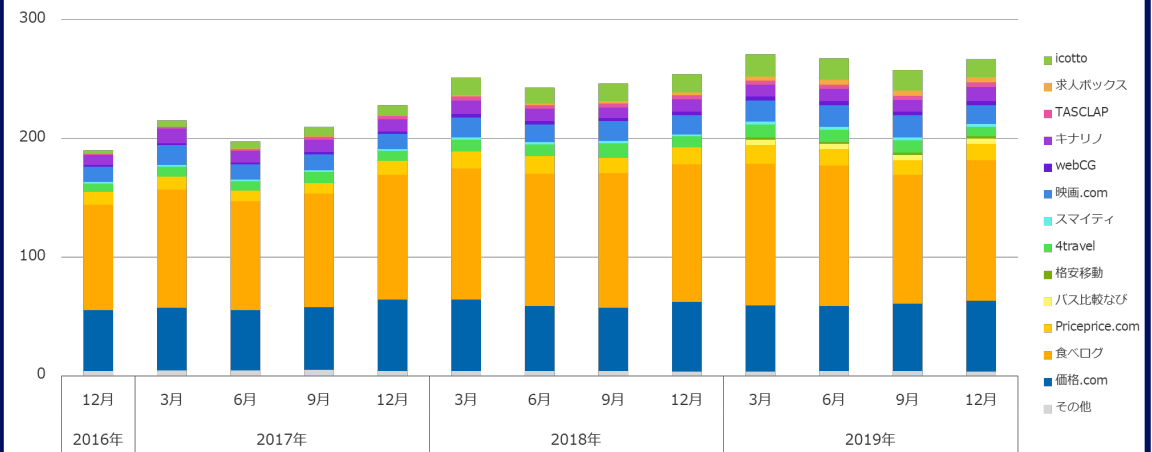
カカクコムの主な事業進捗

【カカクコムグループ積上トラフィック】

グループ全体の月間利用者数は年々増加し、2億6,705万と前年同期比+4.8% (2019年12月)

(百万人)

YoY
+4.8%



カカクコム社 2020年3月期 第3四半期決算説明資料より抜粋

Appendix





(百万円)	2018.3期 (通期)	2019.3期 (通期)
継続事業		
収益	25,503	35,687
リ-リガ型事業から生じる収益	18,141	22,713
営業投資有価証券に関する収益	1,007	6,090
その他の収益	2,111	1,933
金融収益	764	117
持分法による投資利益	3,481	4,835
費用	17,127	22,264
売上原価	7,187	10,401
販売費及び一般管理費	9,095	11,296
その他の費用	542	332
金融費用	303	235
税引前利益	8,376	13,424
法人所得税費用	1,857	4,088
継続事業からの当期利益	6,518	9,336
非継続事業		
収益	3,260	1,261
費用	3,403	1,655
非継続事業からの税引前利益	▲ 143	▲ 394
法人所得税費用	38	▲ 225
非継続事業の売却損益	-	898
非継続事業を売却したことにより認識した法人所得税費用	-	275
非継続事業からの当期利益	▲ 181	454
当期利益	6,337	9,790
当期利益の帰属		
親会社の所有者	6,412	9,771
非支配持分	▲ 75	19

(百万円)	2018.3期 (通期)	2019.3期 (通期)
収益	25,503	35,687
FT フィナンシャルテクノロジー	5,929	6,693
MT マーケティングテクノロジー	9,939	13,676
IT インキュベーションテクノロジー	2,553	8,022
LTI ロングタームインキュベーション	6,301	7,133
税引前利益	8,376	13,424
FT フィナンシャルテクノロジー	2,809	3,174
MT マーケティングテクノロジー	1,856	1,390
IT インキュベーションテクノロジー	1,321	6,889
LTI ロングタームインキュベーション	3,621	4,378

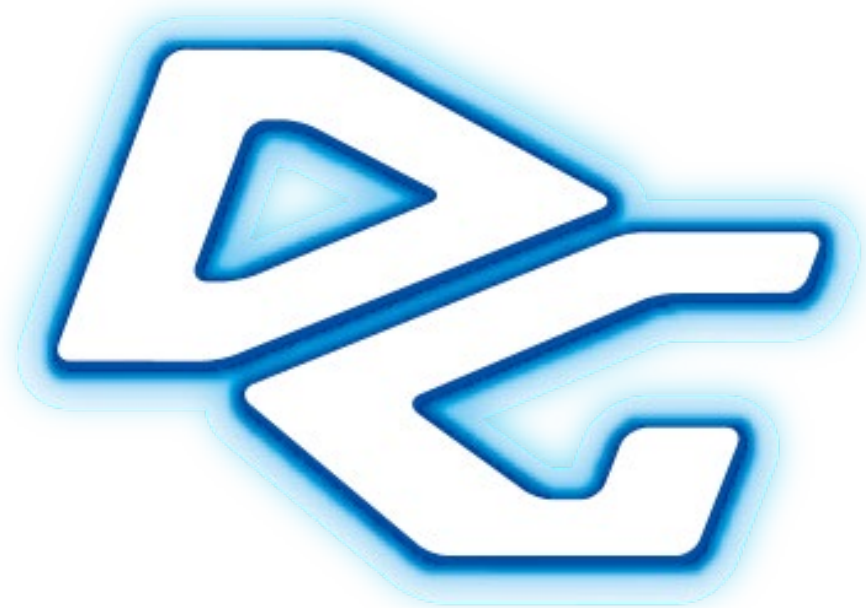
注) 収益は外部収益。各セグメント税引前利益はセグメント間取引消去前、全社収益及び費用調整前



リリース日		リリース内容
2020年2月4日		DG Lab、「Whole Earth 2020 @Tokyo」をテーマに、THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2020 TOKYOを開催
2020年1月22日		イーコンテクト、セブン・ペイメントサービスと提携し、送金サービス「CASH POST」での現金受取り方法にセブン銀行「ATM受取」を追加
2019年12月27日		デジタルガレージグループのマルチQRコード決済ソリューション「クラウドペイ」、KDDIが提供するau PAYに対応
2019年12月24日		デジタルガレージ、缶バッジに埋め込まれたコードを利用し、「LINE」上でコンテンツを視聴できる「DDDisc® for LINE」を提供開始
2019年12月23日		ベリトランス、IDOMが提供する個人間カーシェアサービス「GO2GO」にクレジットカード決済サービスを提供
2019年12月20日		当社孫会社の株式取得（子会社化）に関するお知らせ
2019年12月16日		ベリトランス、総合決済ソリューション「VeriTrans4G」が「PayPay」に対応
2019年12月10日		デジタルガレージ、実購買データに基づく広告最適化レポートサービス「STORY」を提供開始
2019年11月21日		連結子会社の商号変更に関するお知らせ
2019年11月13日		大村湾沿岸地域の活性化を目指す「大村湾データコンソーシアム」が設立
2019年10月31日		デジタルガレージグループ、東芝テックの飲食店向けセルフオーダー端末「RelaxOrder」にテーブル決済ソリューションを提供
2019年10月24日		デジタルガレージグループのマルチQRコード決済ソリューション「クラウドペイ」、「Alipay」「AlipayHK」「KakaoPay」に対応
2019年10月18日		7社のデジタル治療推進企業が「日本デジタルセラピューティクス推進研究会」を発足、活動開始
2019年10月4日		DG Lab、「THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2019 SAN FRANCISCO」を開催
2019年9月19日		デジタルガレージが参画する「STARTUP CITY SAPPORO」プロジェクトが始動
2019年9月17日		ベリトランス、ユニクエストが展開する「小さなお葬式」に後払い決済サービス「ベリトランス後払い」を提供



リリース日		リリース内容
2019年9月12日	 Digital Garage	デジタルガレージとKDDI、ARとVPS技術を活用したデジタルトランスフォーメーション（DX）の実証実験を実施
2019年8月30日	 Digital Garage	デジタルガレージと大和証券グループ、次世代技術を有するグローバルのスタートアップ企業に向けた「DG Lab2号ファンド」を組成
2019年8月16日	 CyberBuzz	デジタルガレージの持分法適用会社であるサイバー・バズが東京証券取引所マザーズ市場への上場承認を取得
2019年8月2日	 Digital Garage	デジタルガレージ、「Onlab Resi-Tech」を通じて国内大手企業7社とスタートアップ5社が共同実施する実証事業を支援
2019年7月25日	 Digital Garage	デジタルガレージ、MITメディアラボの宇宙研究プロジェクト「Space Exploration Initiative」に協賛参画
2019年6月7日	 NaviPlus	ナビプラス、「NaviPlusレコメンド」にNTTドコモの類似画像検索システムを用いた画像解析レコメンド機能を追加し提供開始
2019年5月31日	 Digital Garage	デジタルガレージ、FDC、Fukuoka Growth Next、スマートシティ・インキュベーションプログラム「Onlab FUKUOKA」を始動
2019年5月23日	 Digital Garage	デジタルガレージと鎌倉市、unerry、昭文社、鎌倉市のオーバーツーリズム解消に向け、観光客の行動を可視化する調査実施に関する協定を締結
2019年5月16日	 Digital Garage	デジタルガレージグループ、読み取り支払い型のマルチQRコード決済ソリューション「クラウドペイ」を提供開始
2019年5月15日	 Digital Garage	デジタルガレージ、「LINE QUICK GAME」向けに、「LINE」グループトーク上で動作するコンテンツプラットフォームを開発
2019年5月13日	 Digital Garage	デジタルガレージ、WelbyとのPHRプラットフォーム構築に向け、福岡市で「PHRを活用した生活習慣病予防プログラム」の実証事業を開始
2019年5月9日	 DG LAB	DG Lab、「How to Build a Data Ecosystem」をテーマに「THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2019 TOKYO」を開催
2019年4月23日	 Digital Garage	デジタルガレージ、中国人向けに日本の魅力を紹介する新番組「潮食日誌」の制作・配信を開始
2019年4月19日	 CRYPTO GARAGE	Crypto Garage、ビットコイン決済の仮想通貨デリバティブ取引を実現するP2Pプロトコルを開発
2019年4月12日	 DG INCUBATION	DGインキュベーション、米国で急成長中のオーガニックフード特化型マーケットプレイスGrubMarketにリードインベスターとして出資
2019年4月1日	 veritrans	ベリトランス、特許庁での特許料等の手数料収納業務向けにクレジットカード決済サービスを提供



Digital Garage

本資料に記載された今後の見通し、戦略などは現在の弊社の判断であり、様々な要因の変化により、将来の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。この文書は、投資家向け説明資料として一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。また、この文書は、米国その他証券の売付けまたは買付けの勧誘を行うにあたり証券法の登録または資格要件の充足が必要となる地域における証券の売付けまたは買付けの勧誘を構成するものではありません。当社又は当社連結子会社の証券いかなる証券も米国の1933年証券取引法（以下「1933年米国証券法」といいます。）に基づいた登録がなされておらず、1933年米国証券法に基づく登録を行うか、または登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の売付けまたは勧誘を行うことはできません。米国において証券の公募を行う場合には、公募を行う会社およびその経営陣ならびに財務諸表に関する情報を記載した目論見書によって行うこととなります。